

## テレビ番組の無償提供と映画上映 ジャパンファウンデーションの取り組み

**今** 年春、ジャパンファウンデーションはイラクへアニメ作品『キャプテン翼』のアラビア語吹き替え版を無償提供しました。この作品はサッカーを通して少年の成長を描いたもの。サッカーはイラクで人気のスポーツであり、このアニメが描く友情、努力、希望は復興途上にある国の子どもたちを励ますものと思います。

また、6月にはベトナムの国営テレビ局に『ちびまる子ちゃん』が提供され、放映を待つばかりとなっています。小さな子どもに人気の『それいけ!アンパンマン』もリトアニア、ウズベキスタン、ウガンダなど多数の国の子どもたちを楽しませてきました。

私たちは、日本のドラマ、アニメ、ドキュメンタリー等のテレビ番組を、権利者の許諾を得て海外のテレビ局へ提供しています。その数は毎年30カ国以上におよび、テレビを通じた文化発信の一翼を担っています。かつて日本で大ヒットした、NHK連続ドラマ『おしん』は、アフガニスタンやイラクなど60カ国以上の国で放映されましたが、

それにもこの無償提供プログラムのサポートが大きく影響しており、「おしん」の名前はいまだに世界の人々の記憶に残るものとなっています。

また、同じく映像で日本文化を紹介するものとして、映画での文化交流にも力を入れています。世界各地で現地の団体とともに日本映画祭を開催したり、日本映画が紹介される映画祭を助成金の形で資金面で支援しています。

さらに、日本国内に住む外国の方に日本映画に親しんでもらおうと、2004年度からは英語字幕付の日本映画上映会を開催しています。黒澤明など巨匠監督の作品から、新しい若手監督映画、コメディ、ホラー、花街もの、時代劇まで、幅広い作品を取り上げ、さまざまな視点でみた日本を紹介しています。

テレビや映画は、先進国、途上国を問わず広く普及し、市民の身近な娯楽となっています。ジャパンファウンデーションでは、今後もテレビや映画を通じて、わかりやすく、目に訴える文化交流を続けたいと思います。

(芸術交流部映像出版課 蛭田麻理)